



東北大学

報道機関各位

2010 年 12 月 10 日
東北大学大学院生命科学研究科

～時代が求める大学院教育を目指して～
東北大学生態適応 GCOE「生態環境人材育成プログラム」
説明会開催のご案内

<概要>

これまで私たち人類は、自然をコントロールし、その脅威を克服する事によって生活を維持してきました。しかし今、温暖化や人間の活動そのものによって地球環境が激変し、重大な問題が起きています。生態系や生物には、元来、環境変化に適応する力が備わっています。実はこの自然の持つ適応力を利用したほうが、効果的で社会的パフォーマンスも良いという可能性があります。東北大学「生態適応グローバルCOE*1」では、自然を克服するのではなく、その適応力を活かした解決方法を見いだすため、新しい環境科学の研究教育拠点を設立しました。

従来の大学院教育では、狭い専門分野に特化したスペシャリストの育成に重点が置かれていました。しかし、実社会が直面している環境問題に迅速に対応していくためには、優れた研究基盤の確立と同時に、研究成果を社会に普及し、実践できる人材を育成する事も求められています。そこで生態適応グローバル COE では、高い専門性に加え、マネジメント能力やコミュニケーション能力、国際性、実践力、問題解決能力などを持ち、価値創造の出来るプロフェッショナル人材の育成を目的とした「生態環境人材育成プログラム」を実施しています。このプログラムは 3 つの教育プログラムからなり、以下の 2 つタイプの人材を育成します。

1. 先端研究者：生物・生態系に関連する環境分野で国際的にトップレベルの研究を行う次世代の先導的研究者
2. PEM (Professional Ecosystem Manager)：環境に対する緩和と適応をめざした環境管理を担うことのできる高度な専門家として、国際機関、環境関係の企業および NGO、自治体などで、問題解決型のプロジェクトを企画運営できる生態環境人材



生態適応グローバル COE はあと 2 年ほどで終了することになっておりますが、この教育プログラムはその後も継続し、博士課程学生だけでなく、修士課程進学希望者や社会人受講者も受け入れていく予定です。そこで、本拠点の人材育成プログラムを広く一般の方々に知っていただくために、以下の日程で説明会を開催いたしますので、ご案内させていただきます。なお、本説明会は申し込み不要です。興味のある方は直接会場にお越しください。

この教育プログラムが始動してから 2 年半がたち、教育プログラムを受けた人材が実際に社会で活躍し始めています。本説明会では、卒業者を講演者として招き、本教育プログラムが実際にどのように社会に出てから役に立っているか、というお話をいただく予定です。

記

日時：12 月 14 日（火）15：00～

場所：東北大学理学部 生物・地学共通講義室

《説明会プログラム》

生態適応 GCOE・PEM とは？（生態適応 GCOE 拠点リーダー 中静透）

PEM で学んだことが現場でどのようにいかされているか？（環境省・吉野元）

社会人学生として PEM で学んだこと（三菱マテリアル・荒井重行）

現役学生の声（農学研究科・富田基史）

育成プログラム概要説明（生態適応 GCOE 拠点サブリーダー 河田雅圭）

※1 COE：center of excellence（卓越した研究拠点）。国際競争力のある世界最高水準の研究教育拠点を形成し、研究水準の向上と世界をリードする創造的な人材育成を図るため、文部科学省が 2002（平成 14）年度より推進しているプログラム。現在、東北大学大学院生命科学研究科では生態適応グローバル COE を含め、4 件が採択されている。

（お問い合わせ・取材等のお申し込み先）

〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3

東北大学生命科学研究科生態適応 GCOE

担当：竹本 徳子 特任教授，稲垣 雅一 助教

電話番号：022-795-3637